

# まちのくすりやさん

第94号

今回のおはなし

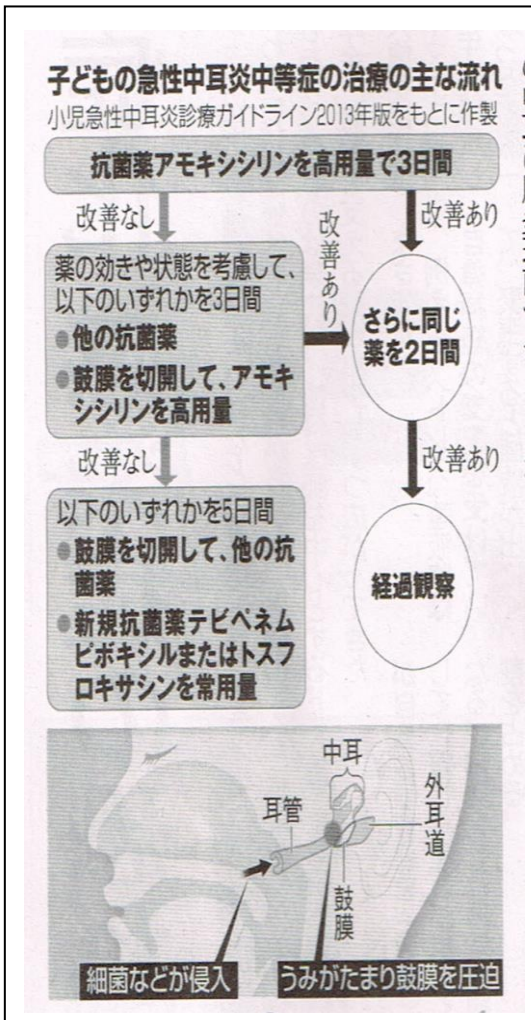
「中耳炎 進化する治療法」  
「喫煙が細菌増殖を促進」



## 中耳炎 進化する治療法

細菌感染などで鼓膜の内側に炎症ができる急性中耳炎は、子どもが風邪からかかることが多い病気の一つです。近年、子ども用の新しい抗菌薬が承認され、治療の選択肢が広がりました。新しい検査法も普及し、有効な薬を早く使えるようになりました。

急性中耳炎は、鼓膜の奥の中耳に肺炎球菌やインフルエンザ菌などが感染して炎症が起きた状態です。耳の痛みや発熱のほか、ひどくなると鼓膜がはれたり、耳だれが出たりします。風邪で鼻水が鼻の奥にたまり、耳につながる管から細菌などが中耳に入って起こる事が多いです。乳幼児は免疫力が弱いので、かかりやすいです。



日本耳科学会や日本小児耳鼻咽喉科学会などによる作成委員会が、2013年に小児急性中耳炎診療ガイドラインを4年ぶりに改定しました。2013年版の診療ガイドラインは、抗菌薬を適切に使うことで、薬が効かない薬剤耐性菌が生まれるのを防ぐことも目的にしています。

抗菌薬の効果を評価する期間は、従来は使用開始から5日間だったのを3日間に短縮しました。中等症や重症の場合は、最初に使う薬の量をこれまでより増やすとしました。「短期集中」で細菌をたたいて耐性菌を生まないようにし、薬の過剰な使用も抑えるのが狙いです。また、ガイドラインでは、11年に公的医療保険の対象になった細菌の検査キットの活用法を示しました。詳細な細菌検査は中耳炎の原因菌を特定するのに3日程度かかりますが、この検査キットは主原因の肺炎球菌の有無を約20分で調べることができます。結果に合わせて抗菌薬を選択できるようになります。

## こんな時に注意

- ・鼻水やせきなどの風邪症状がある。
- ・急な発熱。不機嫌。突然泣き出す。
- ・耳を痛がったり、何度もさわったりする。

## 喫煙が細菌増殖を促進

細菌の塊である歯垢や歯石によって発症する歯周病を悪化させる大きな要因として、喫煙が挙げられます。口臭予防の観点から、喫煙者は吸わない人よりも歯周病にかかりやすく、重症化しやすいです。治療しても治りが遅いというデータもあり、少しでも喫煙本数を減らすべきです。

口の中では、歯と歯ぐきの間に住み着いて、少しでも増殖しようとする細菌と、細菌をはねのけようとする体の防衛機構との戦いが繰り返されています。タバコの煙に含まれている有害成分は、さまざまな作用で細菌を加勢しています。細菌と戦うのは、白血球などの免疫細胞ですが、タバコに含まれるニコチンは免疫細胞の働きを抑制し、戦力を低下させています。加えてニコチンや同じくタバコに含まれる一酸化炭素は毛細血管を収縮させて血流を悪くするため、歯ぐきに十分な酸素や栄養が行き届かなくなります。その上、タバコは歯と歯ぐきに取り付こうとする細菌に格好の足がかりを与えてしまいます。タールが「やに」という形で歯に付着し、ざらざらした部分に細菌が住み着きやすくなります。

多くの悪影響をもたらすタバコは、早く禁煙すればするほど、歯と歯ぐきへの影響が少なくて済みます。

歯周病が進行し、歯を失ってからでは手遅れです。歯科だけではなく、禁煙外来なども活用し、タバコとの付き合い方を考えてみませんか！



笑えば、「幸せホルモン」が分泌され、自然と全身の血行が良くなり、ストレスが発散され、快感、意欲、愛情などプラス思考になります。ニコニコ笑顔を決やさず、笑いジワを刻みましょう。

(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金：10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス [toiawase@urayaku.jp](mailto:toiawase@urayaku.jp)

ホームページ <http://www.uravaku.jp/>